

山口県海外ビジネスサポートデスク 通信

10月号

台湾・高雄市「高雄孔子廟」

個別相談をお受けしております！

山口県内事業者の皆様、海外展開に関するお悩みがございましたら、ぜひお気軽にサポートデスクまでご相談ください！
現地の情報提供から販路の開拓など、幅広いサポートメニューをご用意しています。

【サポートデスクメニュー】

☐ 海外展開に関する相談 ☐ 各種調査・情報提供 ☐ セミナー開催 ☐ 販路開拓・商談サポート支援 ☐ 展示会出展支援

【山口県海外ビジネスサポートデスク利用状況】

2025年9月、1社の企業様に「山口県海外ビジネスサポートデスク」のサービスをご利用いただきました。

主な支援内容として、

・販路開拓支援

- 商談候補先とのリアルもしくはオンライン商談設定（マッチング、アポイント取得業務） 1件
を実施いたしました。

下記にてご紹介いたします。

事例 1. 飲料企業の海外展開支援

利用メニュー：商談候補先とのリアルもしくはオンライン商談設定（マッチング、アポイント取得業務）

<背景・課題>

食品企業様より、「シンガポールの希望先企業へ、オンライン商談設定のアプローチをして欲しい。」とのご希望をいただきました。

<対応>

シンガポール現地の企業様へサポートデスクを通じてアプローチをおこない、オンラインでの商談を設定・実施いたしました。
商談終了後は、双方が直接ご連絡を取り合えるようご案内をさせていただいております。

【SEMICON® Taiwan2025 に出展しました】

■開催期間：2025年9月10日（水）～12日（金）

■開催場所：1F & 4F, Taipei Nangang Exhibition Center (Hall1/Hall2)

企業名	所在地	出展内容
協和機工株式会社	山口市	エア漏れ検査サービス
中国電化工業株式会社	下松市	アルマイト加工
株式会社アクシス	下関市	板金加工
株式会社ひびき精機	下関市	部品加工

事前マッチング、当日会場誘客等のサポートをおこない、多くの商談がおこなわれました。



<利用方法>

○利 用 料：無料

○利用方法：やまぐち産業振興財団への申し込みが必要です。

○そ の 他：山口県海外ビジネスサポートデスクとの通信費や現地への渡航費、移動経費など、利用に付随して発生する経費は、ご利用者様ご自身での自己負担となります。

<申込み・問い合わせ先>

公益財団法人やまぐち産業振興財団 海外展開支援拠点

〒754-0041 山口市小郡令和一丁目1番1号 山口市産業交流拠点施設4階

TEL：083-902-3722 E-mail：jigy@yipf.or.jp

（文責：株式会社日本アシスト 大畑 満帆）

現地からお届け！ 最旬情報 -台湾編-

キーワード 1：台湾が大好き！妻夫木聡氏が日本市場広報担当として活躍

台湾が大好き！幅広い世代に支持される日本を代表する俳優の一人である、妻夫木聡氏が台湾観光庁の日本市場広報担当として台湾観光を PR します！

妻夫木聡氏は昨年、台湾の観光大使に就任し、そのカリスマ性で大きな反響を呼びました。2024 年には台湾への日本人観光客数が 131 万 9 千人に達し、年間成長率は 42%を達成しました。また妻夫木聡氏が出演する「私の好きな台湾旅行」をテーマにした新しい TV-CM は、10 月中旬に公開予定です。さらに妻夫木聡氏は 9 月末名古屋で開催されるツーリズム EXPO ジャパンに自ら出席し、台湾パビリオンで日本人観光客と直接交流しました。

キーワード 2：台湾政府が打ち出す 4 つの観光 PR ポイント

また台湾政府も下記四つのメリットポイントで外国人観光客の誘致を進める方針です。

「台湾観光 100 ハイライトを企画」：

地元の資源を探索して統合、潜在的な魅力を宣伝し、食事、宿泊、旅行、ショッピング等に結びつけることで、観光客が地元の文化を味わうことを奨励します。

「地域観光クラスターを発展」：

地域観光クラスター構想に基づき、文化観光、客家村落、原住民族観光、農業観光等、多様なテーマを推進し、国内観光の深化と幅の拡大を図ります。また、台湾ランタンフェスティバルや中元祭などの大規模フェスティバルを通じて、集客力を高めます。

「国家スマート観光スポット」：

「スマート観光スポット統合管理プラットフォーム」を構築し、情報を統合し、サービスを強化し、「I-center」スマート観光サービスをアップグレードして、運営効率と訪問者の体験を向上させます。

「グリーンツーリズムと多様なマーケティングを積極的に推進」：

グリーンツーリズムを積極的に推進し、グリーンツーリズムの観光地認証の取得を奨励します。コンベンション・エキシビション、コンサート、国際イベントの開催促進等を通じてより多くの海外観光客を台湾に誘致します。

キーワード 3：台湾の経済について

台湾経済は輸出に大きく依存しており、現在の経済状況と今後の見通しは以下の通りです。

2025 年の実質 GDP 成長率は 4.59%と予測されており、堅調な推移が見込まれています。産業別から見ると製造業が GDP の約 33%を占め、特に高度な技術を要する産業で世界的な競争力を持っています。卸売・小売業が 36%、サービス業と IT・通信業がそれぞれ 10%を占めています。政府では半導体、人工知能（AI）、軍事工業、セキュリティコントロール、次世代通信の「五大信頼産業」に注力しています。それに加えて IT 技術者の育成や起業支援にも積極的で、AI 技術者やサイバーセキュリティ分野の特別プログラムを実施しています。

米中貿易摩擦や地政学的リスク、台湾と中国関係の緊張が経済に影響を与える可能性があります。電力供給と脱炭素の両立、少子高齢化と人手不足も深刻な課題です。

台湾經濟部の発表（9/23）によると、8月の輸出受注額が過去最高の 600.2 億米ドル（前年同月比 19.5%増）に達し、7カ月連続で増加しました。AI の強いニーズを背景に、下半期は家電製品の最盛期を迎え、受注の勢いがさらに加速すると予想されます。通年の輸出受注額も過去最高を更新し、2桁成長を示すと見込まれます。

今年最初の 8 カ月の累計受注額は 4,541.5 億米ドルに達し、同期間の過去最高を記録し、前年同期比 21.1%増となりました。經濟部は、AI、高性能コンピューティング（HPC）、クラウドコンピューティング産業への需要が継続していることから、9月の受注額は前年同期比 19%～22.7%増の約 640 億～660 億米ドルになると予測しています。第 3 四半期の受注額は、前年同期比 19.8%増の 1,845 億米ドルから 1,865 億米ドルと予想されています。

イメージング技術の応用の波に乗って新製品投入の勢いが増しており、情報通信製品と電子製品の受注は好調です。經濟部によると情報通信製品の 8 月の受注額は 170 億 6,000 万米ドルで、同期として過去最高を記録しました。前月比 2.8%減、前年比 20.6%増でした。これは主にサーバー、ネットワーク通信製品、グラフィックスカードの受注増加によるものです。

電子製品の 8 月の受注額は 248 億 8,000 万米ドルで、これも同期として過去最高を記録しました。前月比 3.4%増、前年比 39.5%増でした。これは主に IC 製造、PCB、パッケージング・テストの受注増加によるものです。

（文責：辰優國際有限公司 代表取締役社長 黃啓修）